

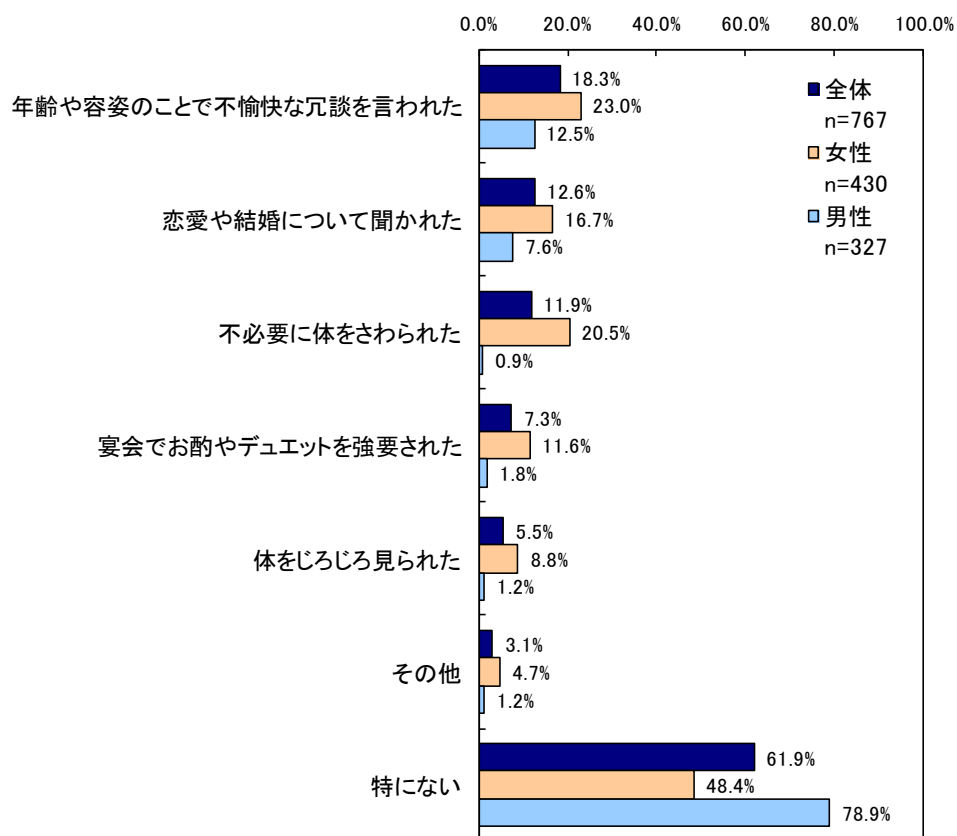
第5章 人権の尊重について

1 性的いやがらせの経験

問 17 あなたは、セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)だと感じることを経験されたことがありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

性的いやがらせの経験をみると、「特にない」の61.9%が最も高く、これに「年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた」の18.3%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「恋愛や結婚について聞かれた」(12.6%)、「不必要に体をさわられた」(11.9%)の順となっている。



<前回との比較>

平成28年調査と比較して5ポイント以上の増減した項目をみると、「年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた」(令和3年18.3%、6.4ポイント増)のみとなっている。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %	令和3年 n=767 %
恋愛や結婚について聞かれた	7.8	7.9	12.6
年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた	15.8	11.9	18.3
不必要に体をさわられた	10.8	7.1	11.9
宴会でお酌やデュエットを強要された	5.8	3.4	7.3
体をじろじろ見られた	3.9	3.1	5.5
その他	0.9	2.1	3.1
特にない	61.4	66.7	61.9

※平成28年調査の選択肢「恋愛や結婚について聞かれた」は、平成23年調査では「異性との交際関係や結婚について聞かれた」となっている。

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「特にない」は「男性」の78.9%に対し、「女性」は48.4%となっており、その分、「年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた」、「不必要に体をさわられた」などすべての項目で「男性」の割合を上回っている。

性・年代別にみると、「女性」の特に『20～60歳代』で性的いやがらせを受けた経験をしている人の割合が高くなっている。

	合計	恋愛や結婚について聞かれた	年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた	不必要に体をさわられた	宴会やお酌やデュエットを強要された	体をじろじろ見られた	その他	特にない
全体	767	97	140	91	56	42	24	475
		12.6%	18.3%	11.9%	7.3%	5.5%	3.1%	61.9%
女性	430	72	99	88	50	38	20	208
		16.7%	23.0%	20.5%	11.6%	8.8%	4.7%	48.4%
小計	41	14	12	8	5	4	1	19
20歳代		34.1%	29.3%	19.5%	12.2%	9.8%	2.4%	46.3%
30歳代	54	18	17	20	9	9	6	19
		33.3%	31.5%	37.0%	16.7%	16.7%	11.1%	35.2%
40歳代	55	11	21	18	8	7	0	21
		20.0%	38.2%	32.7%	14.5%	12.7%	0.0%	38.2%
50歳代	59	8	12	12	9	6	4	28
		13.6%	20.3%	20.3%	15.3%	10.2%	6.8%	47.5%
60歳代	79	12	22	19	13	5	5	35
		15.2%	27.8%	24.1%	16.5%	6.3%	6.3%	44.3%
70～74歳	63	7	6	4	3	4	3	41
		11.1%	9.5%	6.3%	4.8%	6.3%	4.8%	65.1%
75歳以上	79	2	9	7	3	3	1	45
		2.5%	11.4%	8.9%	3.8%	3.8%	1.3%	57.0%
男性	327	25	41	3	6	4	4	258
		7.6%	12.5%	0.9%	1.8%	1.2%	1.2%	78.9%
小計	37	4	5	0	0	0	2	28
20歳代		10.8%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	75.7%
30歳代	39	5	7	0	0	2	2	28
		12.8%	17.9%	0.0%	0.0%	5.1%	5.1%	71.8%
40歳代	54	6	10	0	0	0	0	41
		11.1%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.9%
50歳代	48	7	11	2	4	1	0	33
		14.6%	22.9%	4.2%	8.3%	2.1%	0.0%	68.8%
60歳代	59	1	5	1	1	1	0	49
		1.7%	8.5%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	83.1%
70～74歳	51	1	1	0	1	0	0	46
		2.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	90.2%
75歳以上	39	1	2	0	0	0	0	33
		2.6%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.6%

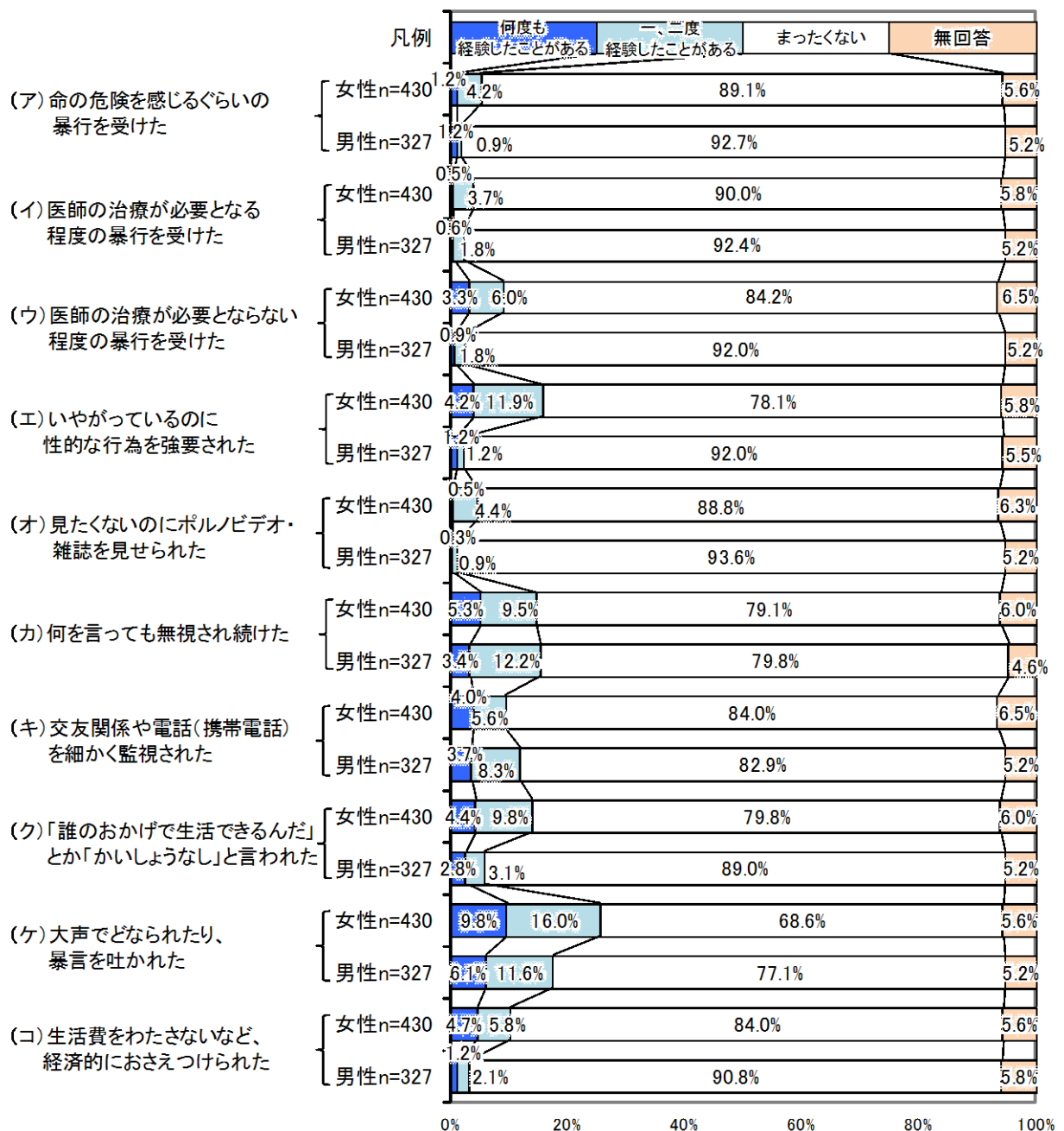
2 ドメスティック・バイオレンスの経験

問 18 あなたは今までに、配偶者や恋人※から、次のような行為をされた経験がありますか。(ア)から(コ)の項目ごとに、あてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者や元恋人、パートナーも含まれます。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスの経験をみると、「何度も経験したことがある」と「一、二度経験したことがある」を合わせた経験者の割合は、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の22.3%が最も高くなっている。以下、経験者の割合の高い方から、「何を言っても無視され続けた」(15.2%)、「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」と言われた」(10.7%)、「交友関係や電話(携帯電話)を細かく監視された」(10.4%)、「いやがっているのに性的な行為を強要された」(10.1%)の順となっている。(ア)～(工)の暴行の経験者の割合は、3.4～10.1%となっている。



<前回との比較>

平成 28 年調査と比較すると、わずかなポイントだが『経験したことがある』が 5 ポイント近く増加したのは、「何を言っても無視され続けた」（令和 3 年 15.2%、4.5 ポイント増）となっている。

	調査実施年	n	『経験したことがある』	まったくくない	配偶者や恋人はいない	無回答
(ア) 命の危険を感じるぐらいの暴行を受けた	R3年	767	3.9	90.6	—	5.5
	H28年	706	5.1	84.3	—	10.6
	H23年	787	3.1	79.7	8.4	8.9
(イ) 医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	R3年	767	3.4	91.0	—	5.6
	H28年	706	2.5	86.5	—	10.9
	H23年	787	2.3	80.6	—	17.2
(ウ) 医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた	R3年	767	6.4	87.6	—	6.0
	H28年	706	6.8	81.7	—	11.5
	H23年	787	7.5	75.5	—	17.0
(エ) いやがっているのに性的な行為を強要された	R3年	767	10.1	84.2	—	5.7
	H28年	706	9.6	79.3	—	11.0
	H23年	787	11.2	71.7	—	17.2
(オ) 見たくないのにポルノビデオ・雑誌を見せられた	R3年	767	3.4	90.9	—	5.7
	H28年	706	4.3	84.1	—	11.6
	H23年	787	3.8	79.0	—	17.2
(カ) 何を言っても無視され続けた	R3年	767	15.2	79.3	—	5.5
	H28年	706	10.7	77.5	—	11.8
	H23年	787	13.7	69.3	—	17.0
(キ) 交友関係や電話(携帯電話)を細かく監視された	R3年	767	10.4	83.6	—	6.0
	H28年	706	9.2	79.2	—	11.6
	H23年	787	10.0	72.6	—	17.4
(ク) 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」と言われた	R3年	767	10.7	83.6	—	5.7
	H28年	706	9.2	79.7	—	11.0
	H23年	787	11.5	71.8	—	16.8
(ケ) 大声でどなられたり、暴言を吐かれた	R3年	767	22.3	72.2	—	5.5
	H28年	706	20.3	69.1	—	10.6
	H23年	787	25.2	58.4	—	16.4
(コ) 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	R3年	767	7.5	87.0	—	5.6
	H28年	706	8.0	81.4	—	10.5
	H23年	787	5.4	77.6	—	16.9

<性別にみた結果>

性別にみると、(カ)と(キ)を除くすべての項目で「女性」の経験者の割合が高くなっている。「女性」の経験者の割合が最も高いのは「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の25.8%で、これに「いやがっているのに性的な行為を強要された」の16.1%が続いている。「男性」の経験者がほとんどいないのは、「命の危険を感じるぐらいの暴行を受けた」、「医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた」、「医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた」、「いやがっているのに性的な行為を強要された」、「見たくないのにポルノビデオ・雑誌を見せられた」の5項目。「男性」の経験者の割合がある程度認められるのが「何を言っても無視され続けた」と「交友関係や電話（携帯電話）を細かく監視された」、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の3項目となっている。

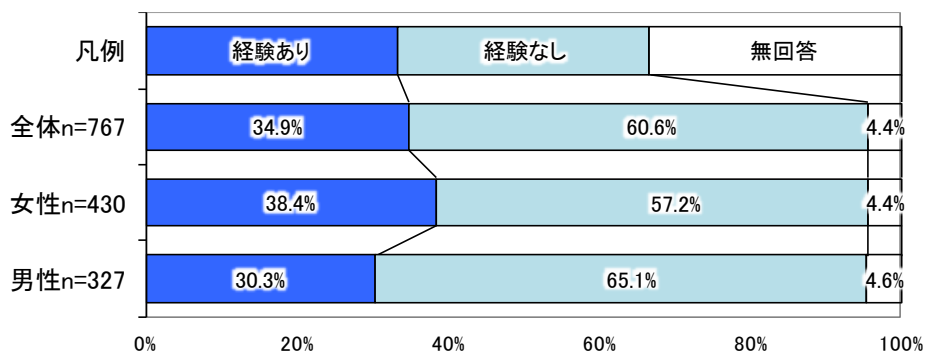
3 ドメスティック・バイオレンスについての相談の有無

問 18 で「経験したことがある」とお答えの方にお聞きます。

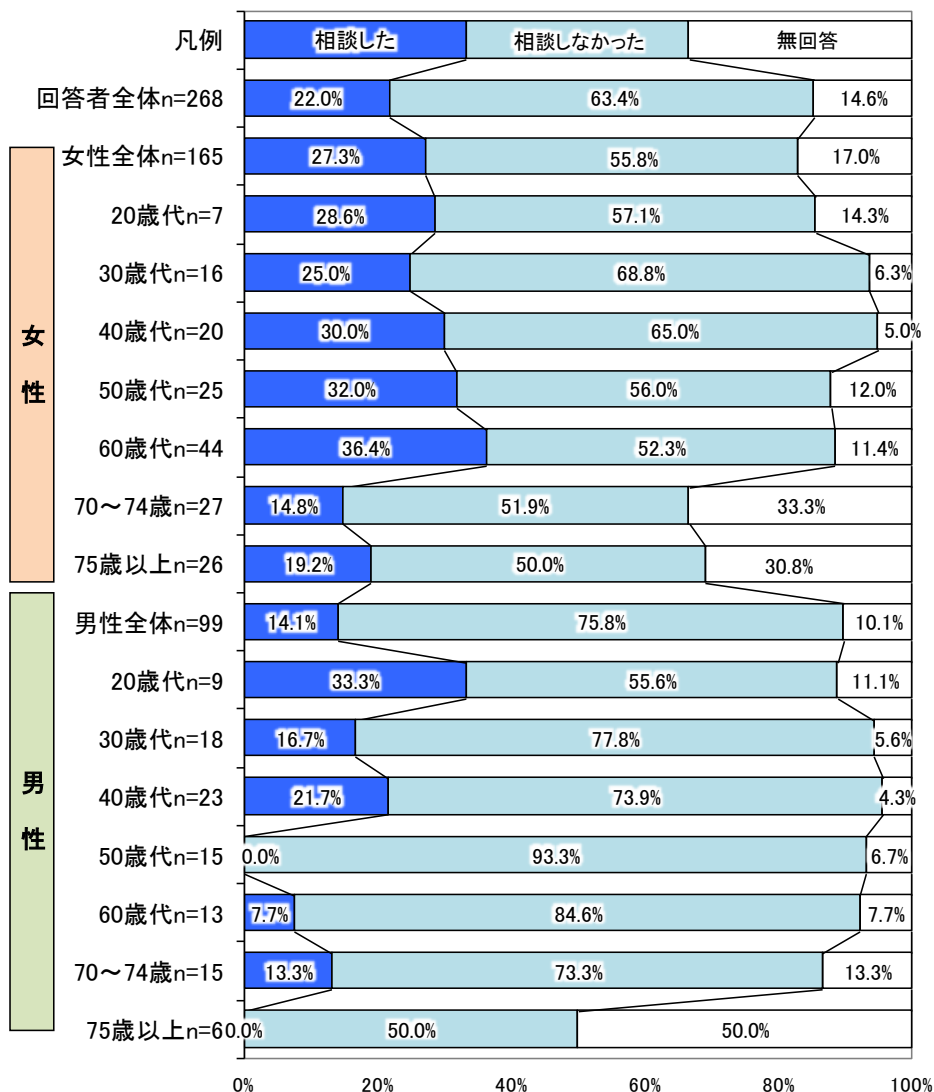
問 18-A その時誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスの被害経験のある人は、女性が 38.4%、男性が 30.3%で、女性が多い。



ドメスティック・バイオレンスを経験した人に聞いた相談の有無をみると、「相談した」は 22.0%で、「相談しなかった」は 63.4%となっている。



<前回との比較>

平成 28 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目は認められない。

	平成28年 n=221 %	令和3年 n=268 %
相談した	23.5	22.0
相談しなかった	66.5	63.4
無回答	10.0	14.6
合計	100.0	100.0

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「相談した」は「男性」の 14.1%に対し、「女性」は 27.3%となっている。

性・年代別にみると、「女性」の特に『40～60 歳代』で「相談した」は 30%台と高くなっている。

<結婚の有無別にみた結果>

結婚の有無別にみると、「相談した」割合が高いのは「女性」で、「離婚」している人の 40.7%を占める。これに「女性」で「既婚（共働きである）」人の 28.9%が続いている。

■性別及び性・年代別にみた相談の有無

	合計	相談した	相談しなかった	無回答
全体	268	59	170	39
	100.0%	22.0%	63.4%	14.6%
小計	165	45	92	28
	100.0%	27.3%	55.8%	17.0%
女性				
20歳代	7	2	4	1
	100.0%	28.6%	57.1%	14.3%
30歳代	16	4	11	1
	100.0%	25.0%	68.8%	6.3%
40歳代	20	6	13	1
	100.0%	30.0%	65.0%	5.0%
50歳代	25	8	14	3
	100.0%	32.0%	56.0%	12.0%
60歳代	44	16	23	5
	100.0%	36.4%	52.3%	11.4%
70～74 歳	27	4	14	9
	100.0%	14.8%	51.9%	33.3%
75歳以上	26	5	13	8
	100.0%	19.2%	50.0%	30.8%
男性				
小計	99	14	75	10
	100.0%	14.1%	75.8%	10.1%
20歳代	9	3	5	1
	100.0%	33.3%	55.6%	11.1%
30歳代	18	3	14	1
	100.0%	16.7%	77.8%	5.6%
40歳代	23	5	17	1
	100.0%	21.7%	73.9%	4.3%
50歳代	15	0	14	1
	100.0%	0.0%	93.3%	6.7%
60歳代	13	1	11	1
	100.0%	7.7%	84.6%	7.7%
70～74 歳	15	2	11	2
	100.0%	13.3%	73.3%	13.3%
75歳以上	6	0	3	3
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%

■結婚の有無別にみた相談の有無

	合計	相談した	相談しなかった	無回答
全体	268	59	170	39
	100.0%	22.0%	63.4%	14.6%
小計	165	45	92	28
	100.0%	27.3%	55.8%	17.0%
女性				
結婚していない	18	3	12	3
	100.0%	16.7%	66.7%	16.7%
既婚（共働きである）	38	11	22	5
	100.0%	28.9%	57.9%	13.2%
既婚（共働きでない）	51	12	28	11
	100.0%	23.5%	54.9%	21.6%
死別	25	7	13	5
	100.0%	28.0%	52.0%	20.0%
離婚	27	11	15	1
	100.0%	40.7%	55.6%	3.7%
その他	4	1	1	2
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%
男性				
小計	99	14	75	10
	100.0%	14.1%	75.8%	10.1%
結婚していない	17	3	13	1
	100.0%	17.6%	76.5%	5.9%
既婚（共働きである）	39	7	28	4
	100.0%	17.9%	71.8%	10.3%
既婚（共働きでない）	23	1	19	3
	100.0%	4.3%	82.6%	13.0%
死別	5	0	4	1
	100.0%	0.0%	80.0%	20.0%
離婚	14	3	10	1
	100.0%	21.4%	71.4%	7.1%
その他	1	0	1	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%

4 ドメスティック・バイオレンスについての相談先

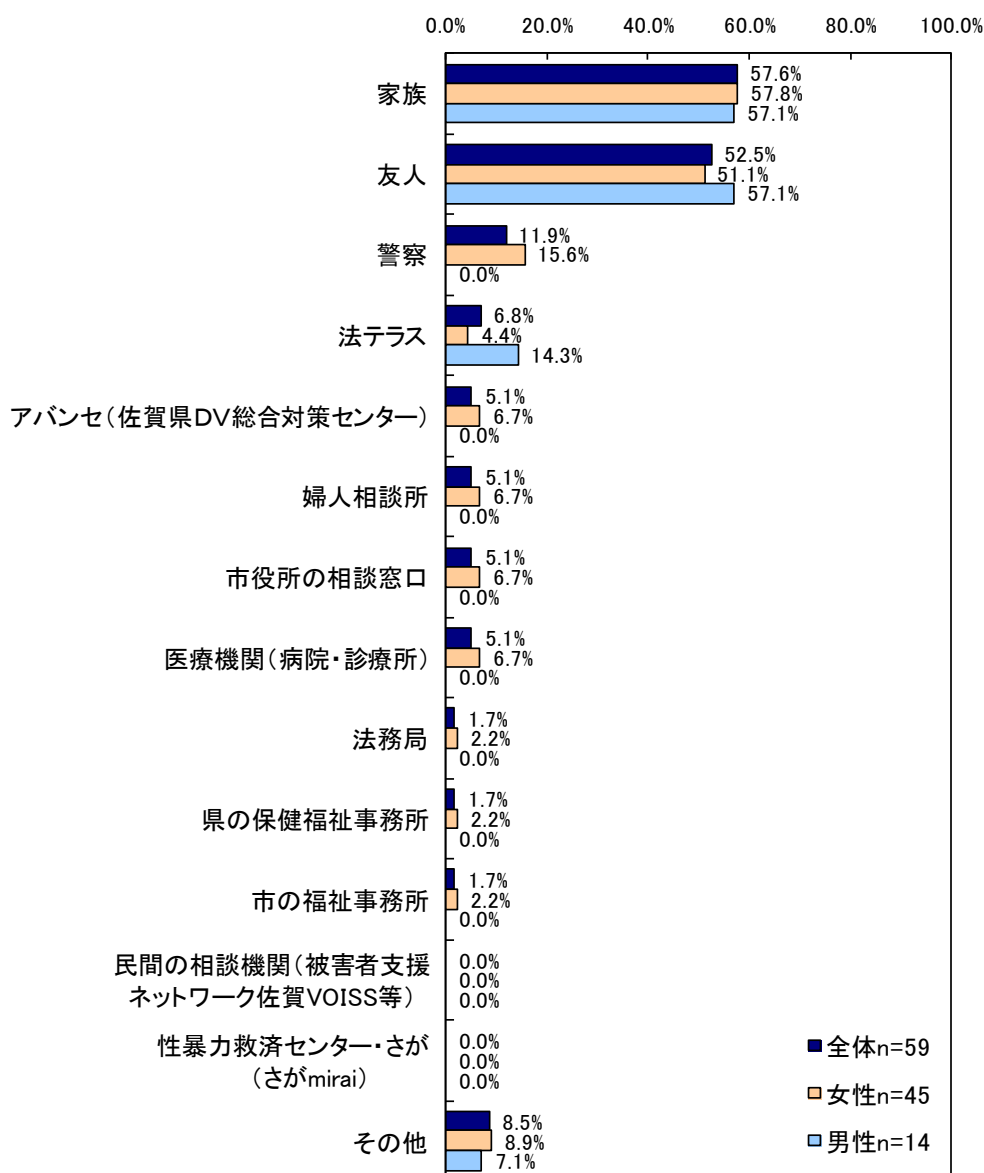
問 18-Aで「1. 相談した」とお答えの方にお聞きします。

問 18-B そのときの相談先はどちらでしたか。

次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスについての相談先をみると、「家族」の57.6%が最も多く、これに「友人」の52.5%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「警察」(11.9%)、「法テラス」(6.8%)の順となっている。



<前回との比較>

平成 28 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目をみると、「市の福祉事務所」（令和 3 年 1.7%、7.9 ポイント減）、「友人」（令和 3 年 52.5%、9.0 ポイント減）となっている。

	平成28年 n=52 %	令和3年 n=59 %
アバンセ(佐賀県DV総合対策センター)	7.7	5.1
婦人相談所	3.8	5.1
法テラス	1.9	6.8
警察	15.4	11.9
法務局	0.0	1.7
県の保健福祉事務所	0.0	1.7
市の福祉事務所	9.6	1.7
市役所の相談窓口	1.9	5.1
民間の相談機関(被害者支援ネットワーク佐賀VOISS等)	1.9	0.0
性暴力救済センター・さが(さがmirai)	0	0.0
医療機関(病院・診療所)	1.9	5.1
家族	53.8	57.6
友人	61.5	52.5
その他	11.5	8.5

<性別にみた結果>

性別にみると、「相談した」と回答した「男性」は14人で、このうち8人が「友人」または「家族」に相談したとしている。「女性」で「相談した」と回答したのは45人で、「家族」や「友人」に相談したのが50%台となっているが、このうち7人が「警察」に相談したとしている。

	合計	アンパ ンター セ (佐賀 県DV 総合 対策 セ ンター)	婦 人 相 談 所	法 テ ラ ス	警 察	法 務 局	県 の 保 健 福 祉 事 務 所	市 の 福 祉 事 務 所	市 役 所 の 相 談 窓 口	民 間 の 相 談 機 関 (被 害 者 支 援 ネ ッ ト ワ ー ク 佐 賀 V O I S S 等)	性 暴 力 救 済 セ ン タ ー ・ さ が (さ が m i r a i)	医 療 機 関 (病 院 ・ 診 療 所)	家 族	友 人	そ の 他
全体	59	3	3	4	7	1	1	1	3	0	0	3	34	31	5
		5.1%	5.1%	6.8%	11.9%	1.7%	1.7%	1.7%	5.1%	0.0%	0.0%	5.1%	57.6%	52.5%	8.5%
女性	45	3	3	2	7	1	1	1	3	0	0	3	26	23	4
小計		6.7%	6.7%	4.4%	15.6%	2.2%	2.2%	2.2%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	57.8%	51.1%	8.9%
20歳代	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%
40歳代	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0
		16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
50歳代	8	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	5	6	1
		0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	75.0%	12.5%
60歳代	16	2	2	0	1	1	0	0	1	0	0	1	11	7	2
		12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	68.8%	43.8%	12.5%
70～74歳	4	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	2	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%
75歳以上	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0
		0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
男性	14	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	1
小計		0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	57.1%	7.1%
20歳代	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
30歳代	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%
40歳代	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	1
		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	80.0%	20.0%
50歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
70～74歳	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
75歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<結婚の有無別にみた結果>

結婚の有無別にみると、「女性」で「相談した」と回答した45人のうち12人が「既婚（共働きでない）」、11人が「既婚（共働きである）」と「離婚」となっている。

	合計	アバンセ ンター （佐賀県DV総合対策セ ンター）	婦人 相談所	法テラス	警察	法務局	県の保健福祉事務所	市の福祉事務所	市役所の相談窓口	民間の相談機関（被害者支援ネットワーク佐賀VOISS等）	性暴力救済センター・さが（さがmirai）	医療機関（病院・診療所）	家族	友人	その他	
全体	59	3 5.1%	3 5.1%	4 6.8%	7 11.9%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	3 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.1%	34 57.6%	31 52.5%	5 8.5%	
女性	小計	45	3 6.7%	3 6.7%	2 4.4%	7 15.6%	1 2.2%	1 2.2%	1 2.2%	3 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.7%	26 57.8%	23 51.1%	4 8.9%
	結婚していない	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
	既婚（共働きである）	11	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 63.6%	6 54.5%	2 18.2%
	既婚（共働きでない）	12	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	7 58.3%	6 50.0%	1 8.3%
	死別	7	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 42.9%	3 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	3 42.9%	1 14.3%
	離婚	11	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	8 72.7%	5 45.5%	0 0.0%
	その他	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	男性	小計	14	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 57.1%	8 57.1%
結婚していない		3	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
既婚（共働きである）		7	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	4 57.1%	1 14.3%
既婚（共働きでない）		1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
死別		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
離婚		3	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%
その他		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

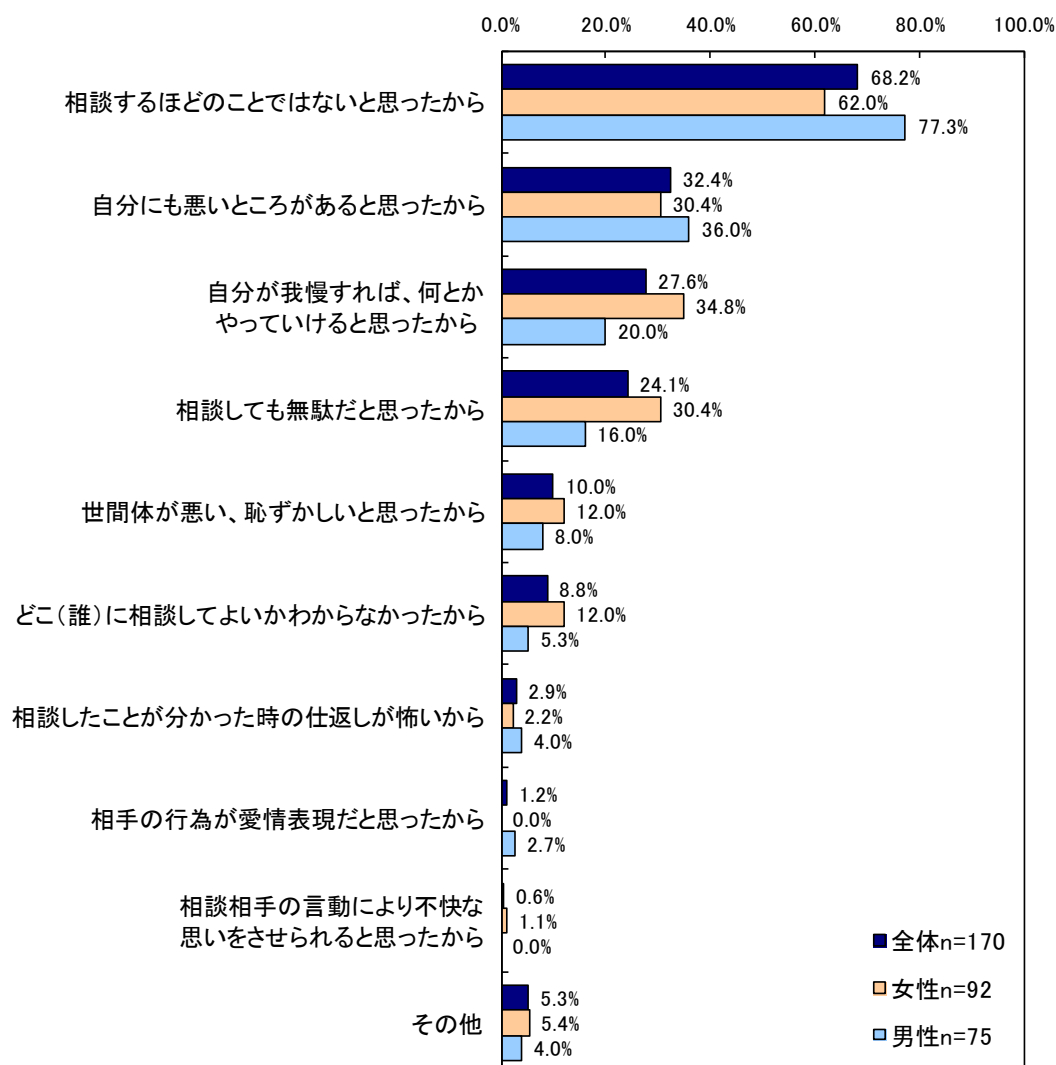
5 ドメスティック・バイオレンスについて相談しなかった理由

問 18-A で「2.相談しなかった」とお答えの方にお聞きします。

問 18-C それはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスについて相談しなかった理由をみると、「相談するほどのことではないと思ったから」の68.2%が最も多く、これに「自分にも悪いところがあると思ったから」の32.4%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「自分が我慢すれば、何とかやっていたら」（27.6%）、「相談しても無駄だと思ったから」（24.1%）の順となっている。



<前回との比較>

平成 28 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目は、「相談するほどのことではないと思ったから」（令和 3 年 68.2%、12.4 ポイント増）、「自分にも悪いところがあると思ったから」（令和 3 年 32.4%、7.7 ポイント減）、「自分が我慢すれば、何とかやっつけていけると思ったから」（令和 3 年 27.6%、7.1 ポイント減）、「相手の行為が愛情表現だと思ったから」（令和 3 年 1.2%、7.0 ポイント減）となっている。

	平成23年 n=158 %	平成28年 n=147 %	令和3年 n=170 %
相談するほどのことではないと思ったから	37.3	55.8	68.2
自分にも悪いところがあると思ったから	38.6	40.1	32.4
自分が我慢すれば、何とかやっつけていけると思ったから	39.9	34.7	27.6
相談しても無駄だと思ったから	34.2	22.4	24.1
世間体が悪い、恥ずかしいと思ったから	7.0	8.8	10.0
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	13.3	—	—
相手の行為が愛情表現だと思ったから	—	8.2	1.2
どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから	6.3	9.5	8.8
相談したことが分かった時の仕返しが怖いから	6.3	3.4	2.9
相談相手の言動により不快な思いをさせられると思ったから	0.6	1.4	0.6
他人を巻き込みたくなかったから	8.9	—	—
被害を受けたことを忘れたかったから	3.2	—	—
その他	2.0	2.0	5.3

※平成28年調査と23年調査の選択肢の違いは、以下のとおり。

・28年「自分が我慢すれば、何とかやっつけていけると思ったから」⇒23年「自分さえ我慢すれば何とかこのままやっつけていけると思ったから」

<性別にみた結果>

性別にみると、「男性」は「女性」より「相談するほどのことではないと思ったから」と「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が高くなっている。「女性」は「男性」より「自分が我慢すれば、何とかやっつけていけると思ったから」と「相談しても無駄だと思ったから」、「どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから」の割合が高くなっている。

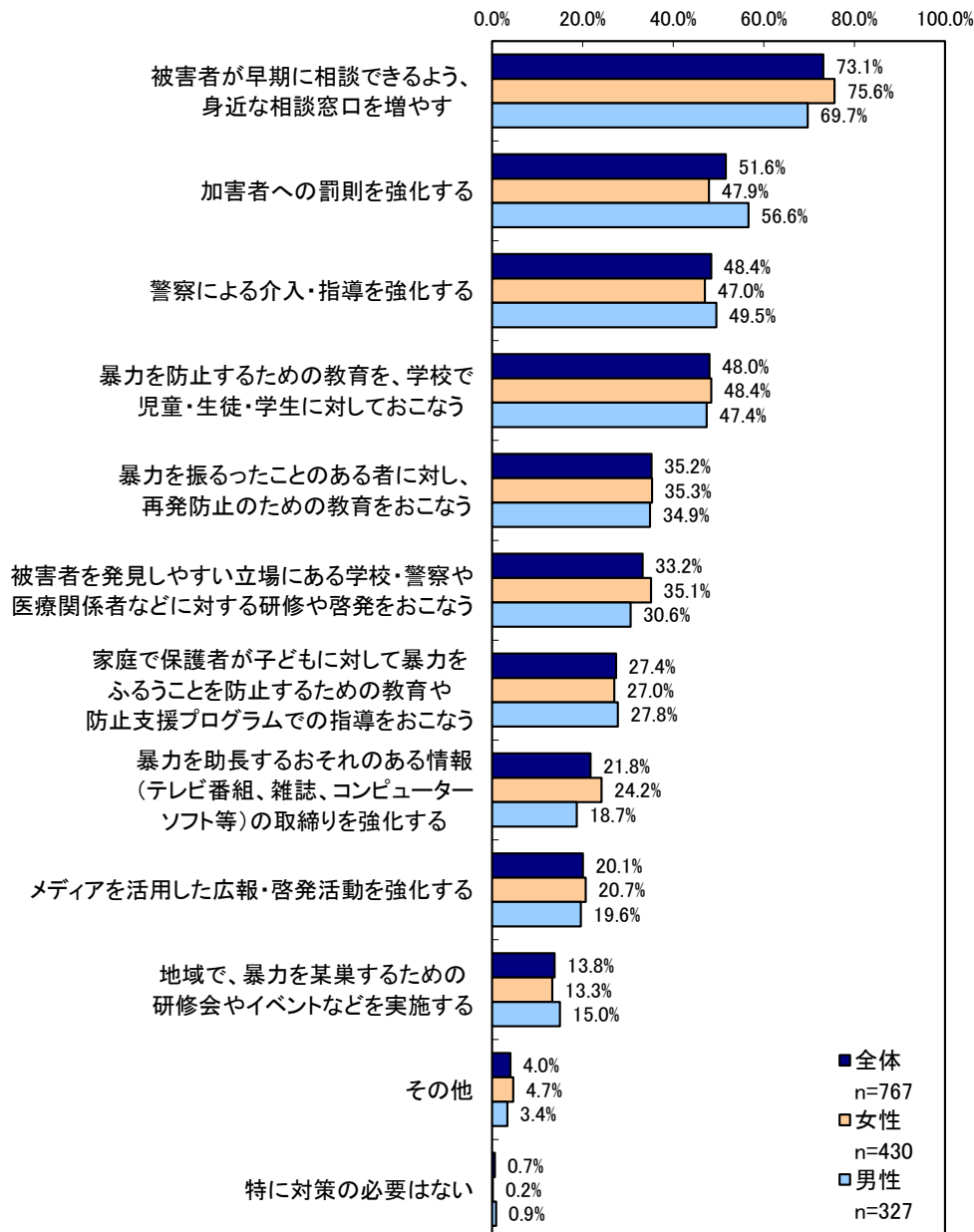
6 女性への暴力をなくす方法

問 19 あなたは、性犯罪、売買春、ドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人からの暴力）、セクシュアル・ハラスメント等による被害をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

性犯罪、売買春、ドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人からの暴力）、セクシュアル・ハラスメント等による被害をなくす方法をみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の73.1%が最も多く、これに「加害者への罰則を強化する」の51.6%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「警察による介入・指導を強化する」（48.4%）、「暴力を防止するための教育を、学校で児童・生徒・学生に対しておこなう」（48.0%）の順となっている。

広報・啓発などの方法よりも、身近な相談窓口の設置や罰則強化、警察の介入などの厳しい方法を求める回答が多くなっている。



<前回との比較>

平成 28 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目は、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」（令和 3 年 73.1%、6.0 ポイント増）、「暴力を防止するための教育を、学校で児童・生徒・学生に対しておこなう」（令和 3 年 48.0%、5.1 ポイント増）、「加害者への罰則を強化する」（令和 3 年 51.6%、9.5 ポイント増）、「警察による介入・指導を強化する」（令和 3 年 48.4%、6.5 ポイント増）、「暴力を助長するおそれのある情報（テレビ番組、雑誌、コンピューターソフト等）の取締りを強化する」（令和 3 年 21.8%、9.2 ポイント減）となっている。

	平成28年 n=706 %	令和3年 n=767 %
被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	67.1	73.1
家庭で保護者が子どもに対して暴力をふるうことを防止するための教育や防止支援プログラムでの指導をおこなう	27.3	27.4
暴力を防止するための教育を、学校で児童・生徒・学生に対しておこなう	42.9	48.0
加害者への罰則を強化する	42.1	51.6
警察による介入・指導を強化する	41.9	48.4
暴力を助長するおそれのある情報（テレビ番組、雑誌、コンピューターソフト等）の取締りを強化する	31.0	21.8
暴力を振ったことのある者に対し、再発防止のための教育をおこなう	35.6	35.2
メディアを活用した広報・啓発活動を強化する	20.5	20.1
被害者を発見しやすい立場にある学校・警察や医療関係者などに対する研修や啓発をおこなう	29.2	33.2
地域で、暴力を某巢するための研修会やイベントなどを実施する	16.9	13.8
その他	2.8	4.0
特に対策の必要はない	0.8	0.7

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「男性」による「加害者への罰則を強化する」（56.6%）の選択率は、「女性」よりも 10 ポイント近く高くなっている。「女性」の選択率が「男性」を有意に上回っているのは、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」（75.6%）、「暴力を助長するおそれのある情報（テレビ番組、雑誌、コンピューターソフト等）の取締りを強化する」（24.2%）、「被害者を発見しやすい立場にある学校・警察や医療関係者などに対する研修や啓発を行う」（35.1%）となっている。

性・年代別にみると、「女性」の『20～40 歳代』では、「加害者への罰則を強化する」、「警察による介入・指導を強化する」が高い割合になっている。また、「女性」の『60～74 歳』では、「暴力を防止するための教育を、学校で児童・生徒・学生に対しておこなう」、「暴力を助長するおそれのある情報（テレビ番組、雑誌、コンピューターソフト等）の取締りを強化する」、「暴力をふるったことのある者に対し、再発防止のための教育をおこなう」の割合が他の層よりも高くなっている。

一方、「男性」の中で「加害者への罰則を強化する」と「警察による介入・指導を強化する」の割合が高くなっているのは『20～50 歳代』となっている。

	合計	身近な相談窓口を増やす	被害者が早期に相談できるよう、	指導をおこなう	暴力をふるうことを防止するための教育や防止支援プログラムでの	家庭で保護者が子どもに対して	暴力を防止するための教育を、	学校で児童・生徒・学生に対しておこなう	加害者への罰則を強化する	警察による介入・指導を強化する	警察による介入・指導を強化する	（テレビ番組、雑誌、コンピュータソフト等）の取締りを強化する	暴力を助長するおそれのある情報	なう	暴力を振るったことのある者に対し、再発防止のための教育をおこなう	メディアを活用した広報・啓発活動を強化する	学校・警察や医療関係者などに対する研修や啓発をおこなう	被害者を発見しやすい立場にある	地域で、暴力を某巢する実施する	研究会やイベントなどを実施する	その他	特に対策の必要はない
全体	767	561	210	368	396	371	167	270	154	255	106	31	5									
		73.1%	27.4%	48.0%	51.6%	48.4%	21.8%	35.2%	20.1%	33.2%	13.8%	4.0%	0.7%									
女性	430	325	116	208	206	202	104	152	89	151	57	20	1									
小計		75.6%	27.0%	48.4%	47.3%	47.0%	24.2%	35.3%	20.7%	35.1%	13.3%	4.7%	0.2%									
20歳代	41	26	8	18	28	26	9	15	10	14	3	2	0									
		63.4%	19.5%	43.9%	68.3%	63.4%	22.0%	36.6%	24.4%	34.1%	7.3%	4.9%	0.0%									
30歳代	54	40	17	27	32	41	6	20	10	25	8	2	0									
		74.1%	31.5%	50.0%	59.3%	75.9%	11.1%	37.0%	18.5%	46.3%	14.8%	3.7%	0.0%									
40歳代	55	42	14	26	38	37	12	18	9	17	3	1	0									
		76.4%	25.5%	47.3%	69.1%	67.3%	21.8%	32.7%	16.4%	30.9%	5.5%	1.8%	0.0%									
50歳代	59	45	14	22	26	26	6	12	8	17	5	7	0									
		76.3%	23.7%	37.3%	44.1%	44.1%	10.2%	20.3%	13.6%	28.8%	8.5%	11.9%	0.0%									
60歳代	79	61	20	43	29	29	21	32	22	28	17	3	1									
		77.2%	25.3%	54.4%	36.7%	36.7%	26.6%	40.5%	27.8%	35.4%	21.5%	3.8%	1.3%									
70～74歳	63	52	20	36	29	19	26	26	15	24	12	1	0									
		82.5%	31.7%	57.1%	46.0%	30.2%	41.3%	41.3%	23.8%	38.1%	19.0%	1.6%	0.0%									
75歳以上	79	59	23	36	24	24	24	29	15	26	9	4	0									
		74.7%	29.1%	45.6%	30.4%	30.4%	30.4%	36.7%	19.0%	32.9%	11.4%	5.1%	0.0%									
男性	327	228	91	155	185	162	61	114	64	100	49	11	3									
小計		69.7%	27.8%	47.4%	56.6%	49.5%	18.7%	34.9%	19.6%	30.6%	15.0%	3.4%	0.9%									
20歳代	37	25	13	19	24	19	3	17	9	16	5	0	0									
		67.6%	35.1%	51.4%	64.9%	51.4%	8.1%	45.9%	24.3%	43.2%	13.5%	0.0%	0.0%									
30歳代	39	25	13	22	26	22	3	14	9	13	7	6	0									
		64.1%	33.3%	56.4%	66.7%	56.4%	7.7%	35.9%	23.1%	33.3%	17.9%	15.4%	0.0%									
40歳代	54	35	9	19	34	29	3	16	6	13	5	2	1									
		64.8%	16.7%	35.2%	63.0%	53.7%	5.6%	29.6%	11.1%	24.1%	9.3%	3.7%	1.9%									
50歳代	48	36	11	21	30	27	13	19	6	12	7	1	0									
		75.0%	22.9%	43.8%	62.5%	56.3%	27.1%	39.6%	12.5%	25.0%	14.6%	2.1%	0.0%									
60歳代	59	43	24	33	28	30	13	24	12	19	9	0	0									
		72.9%	40.7%	55.9%	47.5%	50.8%	22.0%	40.7%	20.3%	32.2%	15.3%	0.0%	0.0%									
70～74歳	51	36	11	22	28	21	14	14	11	15	9	2	1									
		70.6%	21.6%	43.1%	54.9%	41.2%	27.5%	27.5%	21.6%	29.4%	17.6%	3.9%	2.0%									
75歳以上	39	28	10	19	15	14	12	10	11	12	7	0	1									
		71.8%	25.6%	48.7%	38.5%	35.9%	30.8%	25.6%	28.2%	30.8%	17.9%	0.0%	2.6%									